

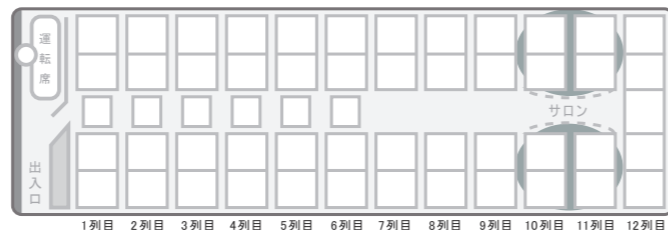
本社 〒959-1511  
新潟県南蒲原郡田上町大字吉田新田乙 178 番地 1  
**TEL : 0256-57-5445**  
**FAX : 0256-57-5446**

新潟営業所 〒950-1131  
新潟県新潟市江南区鍋湯新田 186-5  
**TEL : 025-280-3113**  
**FAX : 025-280-3223**

### ガーラ 車両番号 20-29

大型バス

55人乗り(正席49+補助席6)



### ガーラ 車両番号 20-30

大型バス

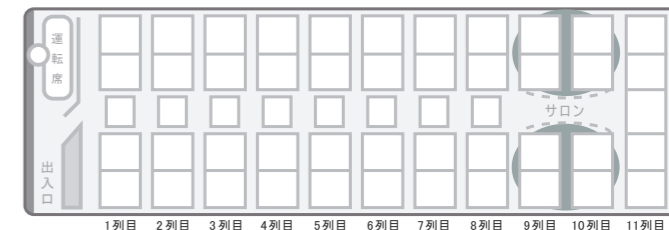
55人乗り(正席49+補助席6)



### ガーラ 車両番号 20-31

大型バス

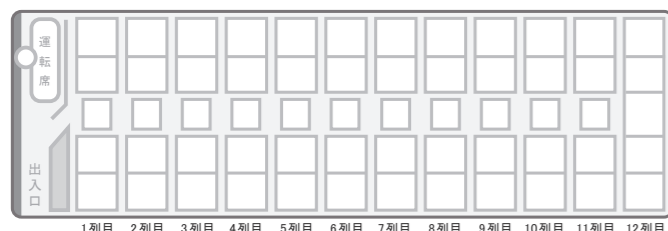
53人乗り(正席45+補助席8)



### ガーラ 60 車両番号 20-28

大型バス

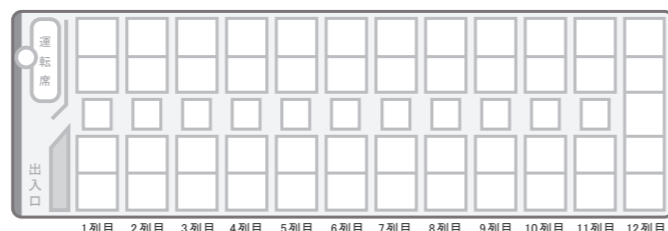
60人乗り(正席49+補助席11)



### ガーラ 60 車両番号 20-32

大型バス

60人乗り(正席49+補助席11)



### エアロエース 車両番号 20-24

大型バス

55人乗り(正席49+補助席6)



### エアロエース 車両番号 20-34

大型バス

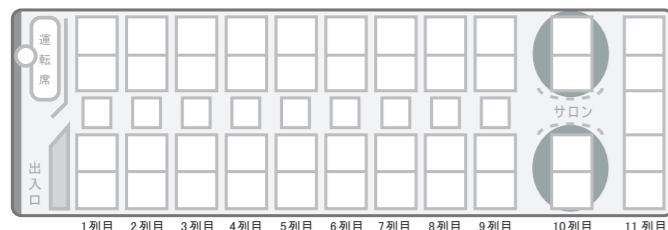
54人乗り(正席45+補助席9)



### エアロエース 車両番号 20-35

大型バス

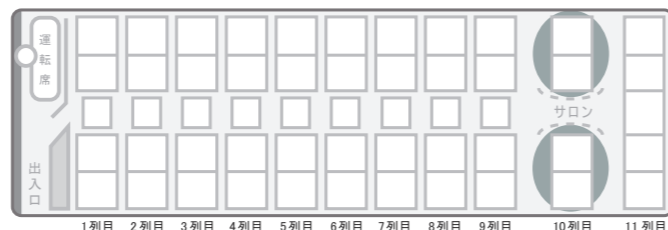
54人乗り(正席45+補助席9)



### エアロエース 車両番号 20-36

大型バス

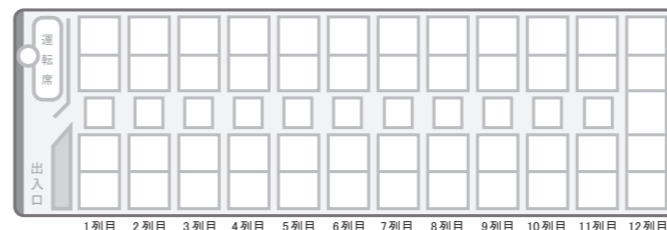
54人乗り(正席45+補助席9)



### エアロエース 車両番号 20-33

大型バス

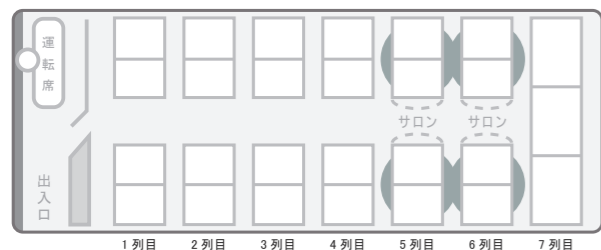
60人乗り(正席49+補助席11)



# ガーラ 9 車両番号 11-01

中型バス

27人乗り



# ガーラ 9 車両番号 11-02

中型バス

27人乗り



## 安全への取り組み



## 公益社団法人日本バス協会による、貸切バス事業者安全性評価認定制度の認定を頂きました。

この制度は貸切バスのお客さまにとって、安全性の高い貸切バス事業者を選びやすく、また事業者全体の安全性向上に対する意識を高めるための環境整備を図るため、貸切バス事業者の安全性に対する取組状況、事故や行政処分の状況等を正当に評価、認定、公表する制度です。

## アルコール検知器

定期的な乗務員教育は勿論、近年社会問題となっている飲酒運転も、いち早く対応しました。

泊まり勤務時や長時間勤務時の飲酒点検にも対応しています。

アルコール測定機器を導入し、出庫前、帰庫後に毎日・毎回測定して、飲酒の有無を判定しております。また、測定時に顔写真を撮影し記録に残すことで、ごまかしや不正が行えないようにしています。飲酒運転を起こさない仕組みを確立しています。



バスの乗務員が宿泊先等からでも、飲酒の有無がないか点呼を行う際に遠隔地でもアルコール測定を行える機器を導入しております。測定結果はすぐに携帯電話を経由し、会社にあるアルコール探知機の本体にメールで送られる様になっており、常に管理できる体制が整っています。



測定にはタニタ ALBLO FC-1000 を導入しております。

測定にはタニタ ALBLO FC-1000 を導入しております。

# 三菱ローザ ロング 車両番号 10-03

マイクロバス

27人乗り(正席 21+補助席 6)



# 三菱ローザ 車両番号 10-03

マイクロバス

27人乗り(正席 21+補助席 6)



## デジタルタコグラフ

デジタルタコメーターを導入し、安全運転や地球にやさしい ECO 運転に取り組んでいます。

デジタルタコグラフは、搭載した車両の速度オーバー、急発進・急ブレーキ回数、アイドリング時間などの運転状況がリアルタイムで簡便に解析できる車両管理システムです。これまでのアナログ式のタコグラフと違う点は、通信回線経由でサーバーに記録され、帰社時に事務所のパソコンで図表化され、一括した管理をして、乗務員への安全運転指導が瞬時に可能になります。又、タイムリーな運転指導による交通事故の防止、危険運転直後の運転指導による事故防止と抑止効果が得られます。さらに、無駄・無理な運転、急発進・急ブレーキ、アイドリングを排除した経済走行による燃費の向上と環境への配慮に取り組んでいます。

測定にはネットワーク型デジタル「DTS-D1」(富士通製)を導入しております。



## ドライブレコーダー

ドライブレコーダーを導入し、万が一の事態の際も速やかに状況を把握・検証し対応出来る様取り組んでいます。

ドライブレコーダーは、走行中検知した衝撃及び急減速等のイベントが発生した物についてメモリーカードに記憶。併せてイベント情報をリアルタイムで運行管理端末へ通知します。万が一の事故の場合より詳細・正確な事故分析を行う事が出来、事故に至らなかった事案についてはヒヤリハット情報として社員に情報共有を行う資料として活用する事が出来ます。



# リエッセ 2 車両番号 10-04

マイクロバス

22人乗り(正席 16+補助席 6)



# リエッセ 2 車両番号 10-05

マイクロバス

22人乗り(正席 16+補助席 6)



## 衝突被害軽減ブレーキ

衝突被害軽減ブレーキは車両前面に搭載されたレーダーが前方車両に追突する可能性が高いと判断した場合に自動的にブレーキが作動します。運転者が何らかの理由で前方車両に気づかない場合でも追突する危険が高まると警告音を発し、ドライバーにブレーキ操作を促し、それでも追突不可避の場合、自動的にブレーキが働く事で追突の被害を軽減する事ができます。

